



Closure report 2023

終了報告書

コンゴ民主共和国

カンボブ地域開発プログラム

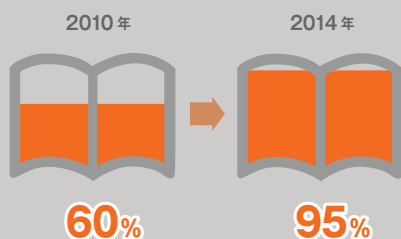
ZAR-185919 (2007年～2023年)



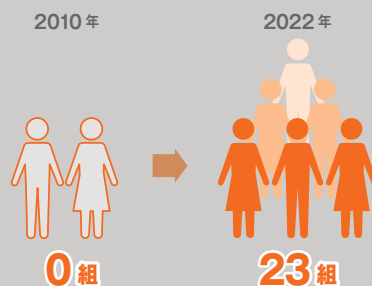
ありがとうございました

皆さまのご支援により、人々が変わり、地域が変わりました

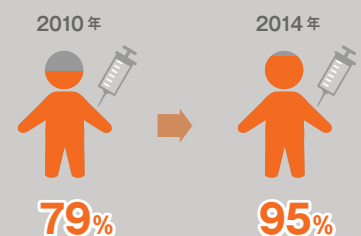
小学校の就学率



貯蓄グループの数



予防接種を完了した 子どもの割合



Education & Child Protection



教育・子どもの保護

小学校の就学率が大幅に向上しました

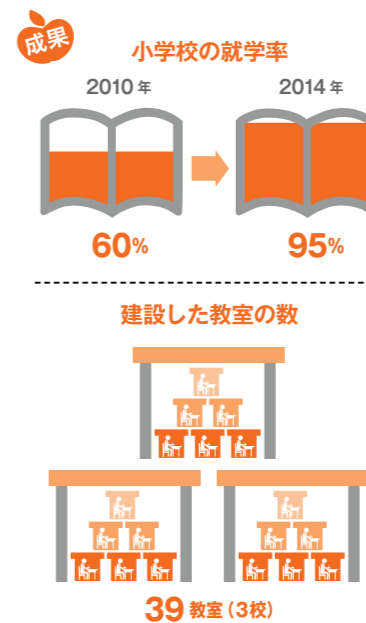
カンボブ地域では、子どもの人数に対して学校が少ないこと、保護者が学校教育の重要性を十分に理解していないことなどから、小学校の就学率が低い状況でした。また子どもたちが学校に行かずに単純労働に従事することも一般的でした。ワールド・ビジョンでは、より多くの子どもたちに教育の機会を提供するため、学校や教室の建設をはじめ、校内にトイレや井戸の整備を行い、保護者に対しては、学校教育の重要性を理解してもらえるよう働きかけました。教員には研修を通じてより良い授業を行えるようにサポートしたほか、読書クラブを立ち上げ、子どもたちの識字能力を高めることにも取り組みました。こうした活動の結果、1万1000人以上の子どもたちに就学の機会を提供できるようになりました。一方で、貧困などの理由から学校に通うことができないまま学齢期を過ぎってしまった10代後半の少年・少女には、職業訓練を実施し、安定した収入を得るための支援を行いました。



支援前
床に座って授業を受ける子どもたち



支援後
机や椅子が整備され、学習の環境が整えられました



Livelihood



生計向上

農業だけに頼らない、生計手段の多様化を目指しました

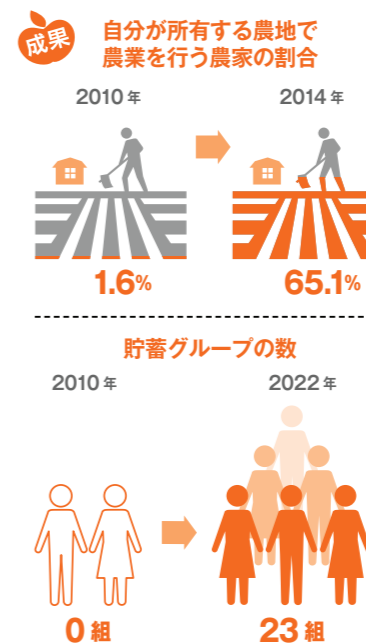
カンボブ地域にはかつて大規模な鉱山会社がありましたが、現在は閉鎖されており、その結果住民のほとんどが農業に従事するようになりました。しかし支援開始当初は自分の農地を持つ人はあまりいなかったことに加え、収穫量も非常に少なかったことから、多くの世帯が貧困のサイクルから抜け出せずにいました。そこでワールド・ビジョンは農業の生産性を高めるため、農家を対象とした技術研修を行ったほか、農産物の販売から得た所得を少しずつ貯蓄し、将来に必要な支出や突発的な出来事に対応できるよう貯蓄グループを形成しました。また支援開始当初はほとんど行われていなかった家畜の飼育を促進し、現在ではキャベツやトウモロコシといった農産物のほかに、ニワトリやウサギなども販売して収入を得ることができています。こうした取り組みによって生計手段が多様化し、現在では半数以上の世帯が農業に加えて別の生計手段を手にすることができるようになりました。



支援後
農業研修を受けて、オクラを収穫した親子



支援後
貯蓄グループの活動に参加する女性たち



Health & Water



保健・水衛生

保健サービスを拡充し、子どもたちの健康が守られています

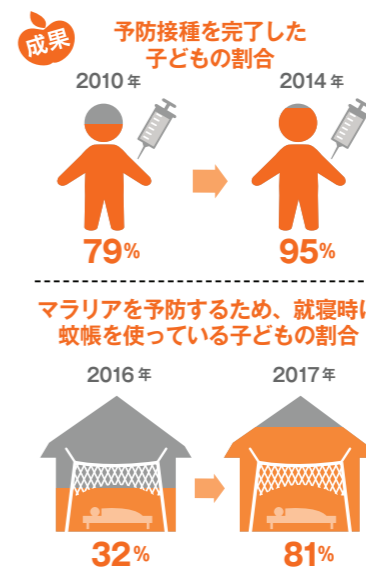
この地域には診療所数が少なく、予防接種などの基礎的な保健サービスを受けられないために、マラリアや下痢など、防げるはずの病気によって子どもたちが命を落としていました。また給水施設の不足や、手洗いなどの衛生に関する知識不足など水衛生に関する問題も深刻でした。これらの課題に対処するため、ワールド・ビジョンは新たに保健センターを建設し、保健サービスの拡充を図りました。また蚊によって媒介されるマラリアの予防に関する啓発活動を実施したほか、子どもたちの栄養状態を確認する検査を行い、栄養不良と判断された子どもたちの治療も行っています。さらに地域の診療所と連携して、子どもを持つ母親らを対象にした研修を実施し、保健・健康に関する人々の知識は高まっています。水衛生分野では、小学校を含む合計15カ所に井戸を建設し、地域の人たちが安全な水を手に入れるようになりました。



支援後
支援によって建設された保健センター



支援後
給水施設で水をくむ女性たち



マネージャーよりごあいさつ



カンボブ地域
開発プログラム マネージャー
ムロンゴ・ヌシンバ・パトリック

チャイルド・スポンサーの皆さま、カンボブ地域に温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。16年という長期にわたるご支援のおかげで、地域の教育環境が改善され、人々は貧困から抜け出すための生計手段を持ち、また子どもの権利が守られるようになるなど、短期的な活動では成し得ることのできない成果を実現することができました。支援期間中には、コレラのまん延、新型コロナウイルス感染症の流行など、多くの困難もありましたが、地域はいま、より良い未来に向かって歩み出しています。子どもたちが希望とともに成長していけるよう、支えてくださった皆さまの尊いご支援に、心から感謝いたします。

地域代表者からのごあいさつ



小学校校長 / 農業組合リーダー
タルシセ・サンガ氏

地域を代表して、カンボブ地域を支援してくださった全ての方々に感謝いたします。以前、私たちの地域では、世帯収入の低さ、保健サービスの不足など、様々な問題を抱えており、特に教育分野では、学校に衛生的なトイレがないことや、子どもたちが床に座って授業を受けていることなど、課題が山積していました。しかし、皆さまのご支援によって、今では学校施設が整備されたほか、地域全体で子どもたちを育む環境を整えることができました。今後は活動の成果を継続し、住民とともにより良い地域を築いていきます。私たちの地域に素晴らしい変化をもたらされたように、他の地域で支援を待っている人々のために、今後ともご支援をいただければ幸いです。

皆さまとともに歩んだ16年間の支援と成果

準備期

2007年度

▼
2009年度

- ◎ 支援対象地域の状況やニーズの調査
- ◎ 地方自治体および地域住民との協働による、調査結果に基づくプロジェクト実施計画の立案
- ◎ 地域の小学校に3つの教室を増設



プロジェクト実施計画について、住民と話し合う様子



小学校に建設された新しい教室

第1期

2010年度

▼
2014年度

- ◎ 調査結果に基づくプロジェクト実施計画の承認
- ◎ 小規模ビジネスのための貯蓄・融資グループの設置
- ◎ 保健センターの建設
- ◎ 地域の小学校にトイレや教室を建設
- ◎ 13人の女性を含む、34人の地域住民に、アドボカシー活動に関する研修を実施
- ◎ 400世帯を対象に農業技術研修を実施し、農業用倉庫を建設



整備された学校で、のびのびと遊ぶ子どもたち



保健センターの建設によって、人々の健康が守られています

第2期

2015年度

▼
2018年度

- ◎ 子どもにとって楽しく、分かりやすく教えるための教授法研修を、教員を対象に実施
- ◎ 地域の小学校にトイレや教室を建設
- ◎ 農業に必要な肥料・種子・苗木などの資材の提供と、収穫量を増やすための研修の実施
- ◎ 子どもたちの学習を支える読書クラブを設置
- ◎ 教員を対象とした、子どもたちの読み書きのサポートや指導を行うための研修の実施
- ◎ 栄養不良と診断された5歳未満児のための、栄養プログラムの実施



地域に新たに建設された小学校



地域の自立に向けた計画を発表する様子

第3期

2019年度

▼
2023年度

- ◎ 基礎教育の無償化を訴えるアドボカシー活動の結果、政府が無償化を決定
- ◎ 地域の小学校に、教室と事務室を建設
- ◎ 互いを尊重し、良い家族関係を築くための研修の実施
- ◎ 農業、畜産業に必要な資材の提供
- ◎ 支援終了後の移行計画について、関係者との話し合いを実施



農業に使用する肥料の支援を受けた人々



ワールド・ビジョンから支給された苗を植える様子

支援を受けたチャイルドのストーリー

「私の夢と、家族の生活を守ってくれてありがとうございます」

ルースさん
(23歳)

「私が通っていた小学校は、とてもひどい状況でした」と語るのは、23歳のルースさんです。建物は老朽化していて机や椅子も足りず、子どもたちは土がむき出しの床や、レンガに座って授業を受けていました。トイレも衛生的ではなく、体調を崩す子もたくさんいたといいます。「私は7人きょうだいの上から2番目なので、将来は教師になって両親を助けたいと思っていたのですが、とても勉強に集中できる環境ではありませんでした」

その後、ワールド・ビジョンの支援が始まったことにより、ルースさんの学校には18の新しい教室をはじめ、ドアのついたトイレ、井戸、学習机や椅子などの設備が整備され、子どもたちが安全に学習できる環境が整えられました。「きちんと椅子に座って授業を受けられるようになって、読み書きや計算の力が伸びて成績が上がりました。そして中学を卒業して、教員になるための資格を取得することができたんです」

現在、ルースさんは幼いころからの夢をかなえ、教師として子どもたちに勉強を教えています。「私たちの地域を支援してくださった全てのチャイルド・スポンサーの皆さまに、心からお礼を伝えたいです。私の夢と、家族の生活を守ってくれてありがとうございます」

